

# '12.2

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行所 兵庫県商工会連合会  
発行人 会長 木南 岩男  
神戸市中央区花隈町6の19  
☎078(371)1261㈹ 〒650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 安平一志  
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植  
会員の購読料は会費に含んでおります

第654号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成23年度 スローガン

## 商工会は行きます 聞きます 提案します



▲木を基調とした落ち着いた外観は、  
お客様に安心感を与える。

## Contents

### ■県連会Letter 2~3頁

- ・県連理事会
- ・専門家等との意見交換会
- ・第3回経営支援アドバイザー養成研修会
- ・商工会女性部特産品販路開拓研修会
- ・中小企業環境経営セミナー
- ・共済事業委員会

### ■あなたのまちの元気な企業(川西市)4頁

### ■商工会Letter 5~6頁

- ・产学研連携養鷄場ふんの処理装置考案(淡路市)
- ・淡路島オニオンキッチン新商品展開(南あわじ市)
- ・第17回わくわくぶらり市 ..... (神河町)
- ・中国広東省観光兵庫県観光プロモーション(三田市)
- ・母ちゃんたちの隣組(佐用町商工会女性部)
- ・「湯~たん」がお出迎え ..... (新温泉町)
- ・サンタになって子供たちを訪問(吉川町商工会青年部)
- ・コラム「ひょうご支援の扉」

平成二十三年三月に五月山の見える猪名川のほとり、絹延橋のたもとに手作りうどんを提供する「うどんキッチン&カフェ・絹延橋うどん研究所」がオープンした。店舗は一階がうどん店、二階がカフェとなつており、いずれも食材にこだわったメニューとなつている。二階のカフェスペースでは夜になるとライブが開催されることもあり、川西の新たな「人が集まる場所」となつている。

(関連記事 四頁)

うどんキッチン&カフェ  
**絹延橋うどん研究所**  
(川西市)  
おいしいうどんを地域へ

# 事務局長の外部登用は公募で

## 第三回理事会

県連合会は、十二月十四日、神戸ポートピアホテルにおいて平成二十三年度第三回理事会を開催、三十人が出席した。

木南会長挨拶の後、次の三議案について審議した。

一、事務局長等任用に係る事前協議実施要領の一部改正及び職員再雇用規程の一部改正について

二、勧奨退職に係る職員退職金共済の特別掛金について

三、平成二十四年度商工会等職員の人事異動について



▲挨拶をする木南会長

三号議案とともに承認された。その後、全役員から各商工会の最近の状況等について報告があり、それぞれが抱える課題や事業の取組み状況について共有することができた。

夕刻には、井戸知事政懇談会を開催し、役員全員で参加した。知事からは日頃の兵庫県政に対し、厚く謝辞が述べられるとともに、平成二十三年の県政十大ニュースが披露された。

県連合会は、十二月十三日、神戸市・川崎重工保健会館において第三回経営支援アドバイザー養成研修会を開催し、二十八人の参加があった。

当時は、県連合会副主任チーフアドバイザー・上山修一氏、チーフアドバイザー・平林潤氏から「経営支援アドバイザーが持つておかなければならぬスキル」をテーマに、企業支援において発生しやすい課題や問題が発生した際の解決方法について説明を受けた。

その後、参加者の支援実績報告書をもとに、経営支援のスタンスについてグループ討議を行い、具体的な事例によるケーススタディを実施した。

参加者は、この研修会を通じて課題解決にむけた当事者意識として経営支援アドバイザーとクライアント企業の意思の一 致が大事であることと、クライアント企業&専門家との関係の中での意識すべきことを学ぶことができ、「ケーススタディでは、一連の流れを通じ支援計画を策定したことで、実践で活用できるスキルの習得と、様々な考え方や手法を知ることで新たな気付きも生まれた」との感想があった。

# 当事者意識の持ち方を学ぶ

## 第三回経営支援アドバイザー養成研修会

県連合会は、十二月十六日、三田市商工会館において、テー

マ別研修会サポート事業で派遣した専門家とチーフアドバイザーの計十五人による「意見交換会」

## 企業間連携の窓口に

専門家等との意見交換会を開催

県連合会は、十二月十六日、

を実施した。

これは、専門家派遣における現場での問題点、課題などの状況を把握し、県下商工会職員等の現場

対応力を更に向上させることができ

目的。専門家からは、「専門家派遣の制度が充実していることを企業が知らなかつたケースがあり、P.Rする必要があるのではないか」と感じている。積極的な商工会もあれば、あまり動きのない商工会

もある」「異業種で構成されるいふる商工会が、町内企業を集めた企業間連携の窓口となつてはどうかなど、様々な意見が出された。今後、専門家のプロフィールや相談事例をまとめた報告書を作成し、専門家派遣事業をより充実させていく予定。



経営者ご自身の「現役引退後の生活資金」のことをお考えですか？

年金だけでは不十分で、不安がある。

自分で積み増しするには、どんなものがあるのかな…

## 小規模企業共済制度

1

加入し、掛金を毎月積み立てておけば…

2

将来、「廃業」「役員退任」等が生じたときに共済金をお受け取りいただけます。

3

現役引退後の安心した生活設計が図れます。

平成23年1月から、個人事業主の「共同経営者」も加入できます！

一事業主につき「2名」まで。

※詳しくは下記連絡先まで

●共済制度の詳しい内容は、パンフレット等を必ずご覧ください。  
共済制度のお問い合わせ・お申し込みはお近くの商工会まで

制度の運営機関：独立行政法人中小企業基盤整備機構  
TEL 050-5541-7171(共済相談室)  
URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

★掛金は全額所得控除の対象になります。(左図は掛金月額3万円の場合)





▲所長の永尾氏(右)、副所長(奥様)とスタッフ

子どもにアレルギー症状があるため、安全・安心な食べ物に強い関心がある所長は、生産者の顔がわかる地元食材を使うようしている。

うどんの小麦粉は、兵庫県小野市で生産される「ふくほの香」をベースに国産小麦をブレンドしたもの。

おかげの野菜は、能勢や近隣の町で採られたものを自分の目で確かめ仕入れている。

メニューはうどんと週毎に変わるおかげ四品とシンプルではあるが、うどんを主食におかずも



▲喜劇なまなざしでうどんを打つ所長

**安全・安心で  
美味しい食事を！**

讀崎うどんか大好きで、毎月のように通うまでになっていた  
という所長の永尾氏。

五年程前に香川県で修業され、  
その後は週末を利用して小麦粉の  
配分を研究しながら、作りたて  
の麺の美味しさをより多くの人  
に知つてもらうため、地域の住  
民に振舞ってきた。

「もつと、街に関わりながら、  
より自分らしく生きたい」とい  
う思いから川西市役所を退職し、  
開業に至った。

また、所長は学生のころから音楽が好きでバンドを結成しており、音楽を身近に感じてもらうため、駅前や子どもが通う保育所等で定期的にライブ活動も

# あなたのまちの元気な企業

「絹延の地名のように、皿に食べられる分を好きなんだけれどするのが嬉しい。」



▲うどんのつやと色とりどりの野菜が食欲を刺激する

## うどん&音楽で 地域と関わりたい

小さいころから父親の転勤のため引越しが多くた所長。

最後に移り住んだ川西市で、腰を据えて生活し、地域に関わつていきたいとの思いが強い。

うどん好き、音楽好きで始めたお店はそんな思いが詰まつた店もある。

一階のうどん店は、駄菓子屋でありかつ、道沿いと思わせない落ち着いた雰囲気を出している。ランチの営業だけではお年寄りが

入りにくいと思い、金曜日と土曜日は夜も営業している。

二階のカフェの大きな窓から五月山が正面に見え、夜にはライブ等が開かれる事もあり、地域の人たちが四季を感じながら音楽等を楽しめるよう工夫している。

ゆくゆくは、麺作りでもっと地域に貢献できることを模索していくといきたいと思いをはせる。

【企業概要】

企 業 名／うどんキッチン&カフェ  
絹延橋うどん研究所  
代 表 者／永尾 美弥  
創 業／2011年3月3日  
住 所／川西市小戸3丁目23-6  
T E L／072-767-7639  
営業時間／水・木・日曜日  
11:30～14:00  
※金・土曜日は17:30～20:00  
も営業、年末年始は休業  
ホーメージ／<http://r.goope.jp/kinuukuen>

商工会への思い

商工会には、「地元を良くしたい」、「事業所との繋がりを大切にしたい」という思いから加入した。川西市も大型店が増え、小さい商店が減っている。小さくても個性ある人が商売できる街、横のつながりを大切にする街、それぞれが夢を持つて商売できる街、そんな街の将来の鍵を商工会が担つて欲しい。



▲2階カフェスペースで  
五月山を背景にライブも

産学連携事業

## 養鶏場のふんの処理装置を考察

### 一 淡路市商工会

淡路市商工会は、今年度の県連合会産学連携事業において、神戸山手大学と提携し、会員企業が抱える環境問題について取り組んだ。

同商工会員企業の養鶏場では、鶏ふん処理過程で出るアンモニア臭について、その対応に悩まされていました。もちろん独自の臭気対策は行っていたが、高額な設備費用がネックであり、その打開策として同大学の井上准教授(環境文化ゼミ)のグループとともに、処理装置の研究開発を取り組んだ。

手法は、アンモニア臭の発生元である鶏ふんの発酵処理施設に送風機を

用いて臭氣を集め、それをドラム缶に泡立てながら流し込み、薄い塩酸を入れて中和溶解を行うものである。現場に設備を設置したところ、臭いがほとんどなくなっただけではなく、アンモニアが塩化アンモニウムに変化し、成分が液体肥料としても有用性が高いという付随的な恩恵も被った。

本事業は、全国の養鶏場でも珍しい先進的事例となり、平成二十三年十二月三日(土)に同大学で開催された「中小企業環境経営セミナー」でも発表し、同企業では、何よりも企業の社会マスコミにも大きくとりあげられた。



▲臭気対策処理装置設置の様子

## 淡路島オニオンキッチン新商品を展開

### 一 南あわじ市商工会

バス(平成二十二年経済産業大臣賞受賞)の新味をはじめ、島の特産品を最大限に生かした新商品を開発、話題となっている。

また、五種類に味付けした玉ねぎと淡路ビーフがマッチした「バーガーフェスタ」は、十月のとつとりの淡路島、「オニオンチップス」は、オニオ

- 淡路島オニオンキッチン新商品
- ① オニオンチップス(カレー味・ブラックペッパー味)
  - ② 淡路島ポーク(ウインナー・ロースハム・ベーコン)
  - ③ オニオンスープ(コンソメ・ポタージュ・スピナッチャ)
  - ④ 淡路島ラスク(玉ねぎ・ナルトみかん・蜂蜜)
  - ⑤ ブルーベリーコンフィチュール
  - ⑥ 淡路島はちみつ

★淡路島オニオンキッチン  
<http://www.m-awaji.jp/onion/>

全国ご当地バーガーフェスタリュートに出展、見事三位に入賞した。淡路島バーガーは道の駅うずしおで販売、大好評である。



◀▼オニオンチップス

## 兵庫県観光プロモーション団が三田市をPR

### 一 三田市商工会

日本大震災及び原発事故による風評被害対策として、風評の払拭ならびに三田市を含む兵庫県の魅力をPRするため、県下九市町の観光関連事業者等で構成する「ひょうご観光プロモーション団」(総勢百三十人、団長・井戸県知事に参加し、十一月四日~七日にかけて兵庫県・友好州である廣東省の広州市を訪問した。



▲松原会長による現地旅行社へのプレゼン

州の人達に三田市を含む兵庫県が全て魅力ある観光地であることをPRができた。

同開催となり、町行政・観光協会・商店街が一体となって集客地域や住民との交流の機会を多く設け、養鶏場についての理解を深めて、ただくとともに、地元貢献型の環境経営を推進したいとのことである。

また、本事業を通じて同大学の学生が同企業に採用が内定したことでも大きな成果であった。



▲暖かなイルミネーション

神河町商工会(堀口勝久会長)は、十二月三日(土)、寺前駅前商店街において、「神河ミルキーウェイ「冬の巣」」第十七回わづくわくぶらり市を開催した。「昨年から「賑わい創出事業」との

当日は悪天候の為、地元祭事「どんぼ道中」(男性が女装した花嫁道中)が中止となつたが、鼓笛やダンス太鼓演奏、ファイヤーパフォーマンス、鳴

## 神河ミルキーウェイ「冬の巣」第十七回わづくわくぶらり市

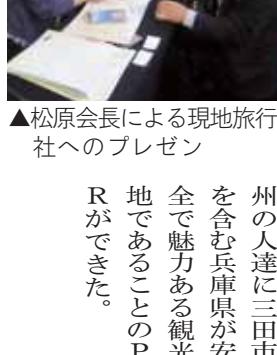
### 一 神河町商工会

姫路食博出品の「定釜鍋」の振舞いや宮城県物産販売を行ない、東日本震災復興支援等の募金活動を実施した。

午後から夜にかけてのイベントも定着し、多くの来場者がおり、地域経済に活気を生み出すことが出来た。

日本大震災及び原発事故による風評被害対策として、風評の払拭ならびに三田市を含む兵庫県の魅力をPRするため、県下九市町の観光関連事業者等で構成する「ひょうご観光プロモ

光プロモーション団」(総勢百三十人、団長・井戸県知事に参加し、十一月四日~七日にかけて兵庫県・友好州である廣東省の広州市を訪問した。



## 地域のふれあいの場 「母ちゃんたちの隣組 寄つていって屋」

—佐用町商工会女性部—

佐用町商工会女性部（坂本ひとみ部長）は、十二月十二日、佐用商店街において地域住民の交流イベント「母ちゃんたちの隣組寄つていって屋」を開催した。

昔ながらの人付き合いを生かし、水害後空き店舗が増えた商店街を少しでも活性化させようと計画し、第三回目となる今回



は、「だんご汁」を手作りした。また、「灯りのプロムナード」と名付け、部員たちでペットボトルを使って約二百本のキャンドルライトを製作し、商店街内に設置。ローソクに灯をともすと、柔らかな光が集まつた人たちを包み、和やかな雰囲気の中、交流を深めることができた。

湯村温泉のイメージキャラクター「湯~たん」が、温泉街で観光客のお出迎えを始めた。



▲すべすべお肌の  
「湯~たん」に出会えます。

## イメージキャラクター 「湯~たん」が観光客をお出迎え

—新温泉町商工会—

影に応じて、同温泉のPR役を買っている「湯~たん」は、地域経済への波及効果がますます期待されている。

「湯~たん」は、平成二十一年度地域資源の全国展開プロジェクト事業において、キャラクターケーブルを公募したことにより誕生した。温泉タマゴをイメージしたすべすべした乳白色の肌とつぶらな瞳が愛らしく、登場する度に「カワイイ」と大人気。

休日には荒湯周辺での記念撮影

## サンタがうちにやつてきた —吉川町商工会青年部員—

—吉川町商工会青年部員—

吉川町商工会青年部（武田弘志部長）は、「サンタがうちにやつてきた」事業を実施した。クリスマスイブの夜、サンタクロースに扮した青年部員が、応募した家庭から事前に預かったプレゼントと一緒にメッセージを子ども達に届けるというもの。今回で四回目となるが、募集開始二日で予定の三十世帯に達したため訪問世帯を増やした。



当日は、一人一組で三十八世帯を訪問。満面の笑みでプレゼントを受け取る子、泣き出してしまう子、この日のためにサンタへのお礼の手紙や絵を準備している子もいて、この冬一番の寒波だったが、無邪気な子ども達の表情が青年部員の充実感と次回へのヤル気を温かく満たしてくれる一夜となつた。

## コラム

## ひょうご支援の扉

### 中小企業政策の変遷と商工会

経営支援課長 中村嘉雄

バブル崩壊後、構造的な不況が続くことになる。そこで、二十一世紀を見据えて政策体系を抜本的に再構築し、今後の中長期的な政策展開の基軸を明確化するため、一九九九年に中小企業基本法が改正された。

従来は、スケールメリットの追求（中小企業構造の高度化）が中心で、「創業」等の位置付けがなかつたが、資金、人材、技術、情報等経営資源の面での支援を基盤的な施策として、「経営基盤の強化」、これに創業・

組合づくりの促進や間接金融が中心であったが、組合・団体は、スケールメリット追求の手段へと政策転換されたのである。また金融は、間接金融中心から直接金融も視野に入れたものへと転換されたのである。官十金（金融機関）の複合的専門特化型支援体制を構築していくことが求められている。

最高の信頼を  
めざして。

三井住友銀行

